

# 平成18年度 高冷地水稻生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(6月13日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	20.5 (80%)	366 (122%)	4.1 (-0.8)	38.0 (-0.8)	5.8 (-0.4)
	前年	23.0	291	5.1	39.1	6.5
	平年	25.5	299	4.9	38.8	6.2
コシヒカリ	本年	24.0 (87%)	351 (122%)	3.7 (-1.1)	37.0 (+0.5)	5.8 (-0.6)
	前年	27.2	191	4.8	37.4	6.3
	平年	27.6	288	4.8	36.5	6.4
たかやまもち	本年	28.0 (99%)	349 (122%)	4.1 (-0.7)	38.1 (+1.6)	5.7 (-0.7)
	前年	25.5	164	4.8	35.3	6.0
	平年	28.3	285	4.8	36.5	6.4
ひだほまれ	本年	28.0 (98%)	282 (111%)	3.8 (-0.8)	37.6 (+1.7)	6.1 (-0.3)
	前年	27.9	266	4.7	38.5	6.5
	平年	28.5	254	4.6	35.9	6.4

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a  
 平年値: 過去5年間の平均値  
 ( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 生育状況

この1週間で草丈はあまり伸びなかったため、「たかやまもち」と「ひだほまれ」では平年並み、「ひとめぼれ」と「コシヒカリ」では平年よりも草丈が短くなっている。茎数は順調に増加しており、「ひだほまれ」で平年より10%多く、他の品種では20%増となっている。

葉色(葉色板)は、いずれの品種もかなり値が低い(淡い)が、測定葉の褪色が原因で、SPAD値とは傾向が一致していない。外観(群葉)では葉色が濃くなりつつあるので、問題はないと考えられる。ただし、葉齡は依然として遅れており、平年を下回っている。

### 2) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシが見受けられるが、成虫の頭数は減りつつある。しかし、イネアオムシが発生し始め、葉の食害を受けた株が発生している。

### 3) 今後の管理

この快晴を利用して早期中干しを実施しておきたい。以降の水管理は、間断灌水とし、分けつを促し早期に有効茎の確保を目指す。

生育が思わしくないほ場では、追肥をしたくなるが、当面見合わせた方が良い。また、下葉に赤褐色の斑点が見られることがあるが、これは根腐れによるカリ欠乏による症状なので、早期中干しで根の健全化を図る。

<参考> 前回調査時(6月6日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	19.1 (101%)	253 (214%)	3.5 (-0.7)	29.6 (-1.7)	4.5 (-0.6)
	前年	19.0	118	4.2	31.3	5.1
	平年	—	—	—	—	—
コシヒカリ	本年	22.7 (108%)	211 (207%)	3.4 (-0.7)	31.0 (-0.2)	4.5 (-0.5)
	前年	21.0	102	4.1	31.2	5.0
	平年	—	—	—	—	—
たかやまもち	本年	26.0 (135%)	202 (222%)	3.5 (-0.5)	29.7 (+2.1)	4.4 (-0.3)
	前年	19.3	91	4.0	27.6	4.7
	平年	—	—	—	—	—
ひだほまれ	本年	26.1 (120%)	167 (176%)	3.7 (-0.3)	33.0 (+0.8)	4.6 (-0.5)
	前年	21.7	95	4.0	32.2	5.1
	平年	—	—	—	—	—

( )内の数値は対前年値

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>